

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和3年 7月 31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市伏見区石田森南町28-1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 医療法人 医仁会 理事長 武田 隆久

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	独自のシステム（自己宣言）
適 用 範 囲	武田病院グループ
導 入 年 月 日	1997年 12月 18日
認 証 番 号	
基 本 方 針	武田病院グループは、SDGs17の目標を活動に掲げ、保健・医療・福祉・介護及び関連活動の中で常に考慮し、生物と地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ豊かな社会環境の実現に貢献します。また、法規・法令を遵守するとともに経済、社会、環境関連団体における理念等を尊重し、組織的、継続的な改善と調和を推進します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	職員、関係者の定期的な環境教育・BCP訓練等を中心に活動を浸透させ、省エネルギー推進委員会を中心に活動し、「2050 CO2ゼロ」を視野に入れ、温室効果ガスの削減を目指す。グループの環境関連委員会を中心に物品購入時の省資源活動と共に廃棄物の削減、4Rの推進、設備改修時は省エネ機器の導入する。環境広報は機関紙をはじめ、デジタルサイネージやホームページ等で積極的に行う。
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー推進委員会にエネルギー管理士を配置し、省エネ活動を推進している。また、エネルギー管理専門家の派遣利用や国の省エネ事業を利用した高効率機器の導入等によりエネルギー利用の高効率化を図っている。物品購入時は環境購入を優先させ省資源活動と共に廃棄物の排出は計量と共に4Rを推進している。定期的な広報誌、ホームページ、デジタルサイネージ等により環境活動を報告している。
目標を達成するための取組の進捗状況	職員の環境教育はもう少し積極的に推進する必要がある。主病院でのLED照明の導入、老朽化した主要な熱源設備の取替もほぼ完了している。DMコントローラの設置も完了している。現在、稼働率の高い小型熱源機器の更新、更にBEMSデータとCO2センサーによる換気流量の測定を実施し、さらにCO2削減の効果を検討している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	グループ内での環境負荷の高いガス（EOG、笑気、フロン22）の削減は計画的に実施できた。CO2削減は計画的な省エネ機器の導入、旧式熱源機器の入替、廃棄、LED照明の導入と人感センサーにより削減できた、BEMSによるエネルギー使用の評価、DMコントローラによる最大電力の抑制等により、さらに推進している。また、ライトダウンキャンペーンへの参加、エネルギー管理専門家による省エネ提案の実施等、行政からの助言も得ながら、省エネを実施できた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	法規、条例の変更、改定等による対応は環境法規管理規定と環境法規管理要領書・環境法規管理チェック表、機器管理表に基づいて管理を行っており、特に問題はない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	法規の改訂、組織変更によるマニュアル、規定の改定、見直しを定期的実施している、職員全体に対してはデジタルサイネージを利用した環境報告を実施している。BCPマニュアルによる地下浸水、地震災害、防災・危機管理への設備導入、非常用発電機の管理方法の改善等、取り組みは少しずつ前進している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。